

ノートン アンチウイルス 2009 における ADS セキュリティ除外の設定方法(2009 年 04 月現在)

一部のADS(Ver.7/Ver.8)ユーザー様において
ご使用のパソコン環境に、ノートンアンチウイルス2009(以降、ノートン)がインストールされて
いる場合、ADS使用時に、下記の現象が(2009年4月現在)確認されております。

- odxf データの読み込みが不調
- 敷地入力時にデータが更新されない
- データが保存されない

この場合は、ノートンの設定を変更することで回避できる場合があります。
本設定で、回避できない場合は弊社サポートセンターまでご連絡ください。

【重要】:

本手順書に基づいて、ノートンの設定を変更する際は、
必ず貴社システム管理者(責任者)様へ相談の上、実行して下さい。

■設定変更の基本手的な流れ

1. システム管理者への相談、確認
2. ADSの作業ディレクトリ(TEMP)を確認
3. ノートンでの設定 : [スキャンの除外]設定 → [Auto-Protect の除外]追加、適用
4. 終了

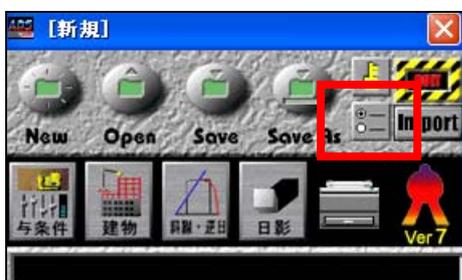
■ 設定手順

1. システム管理者への確認、相談を実施

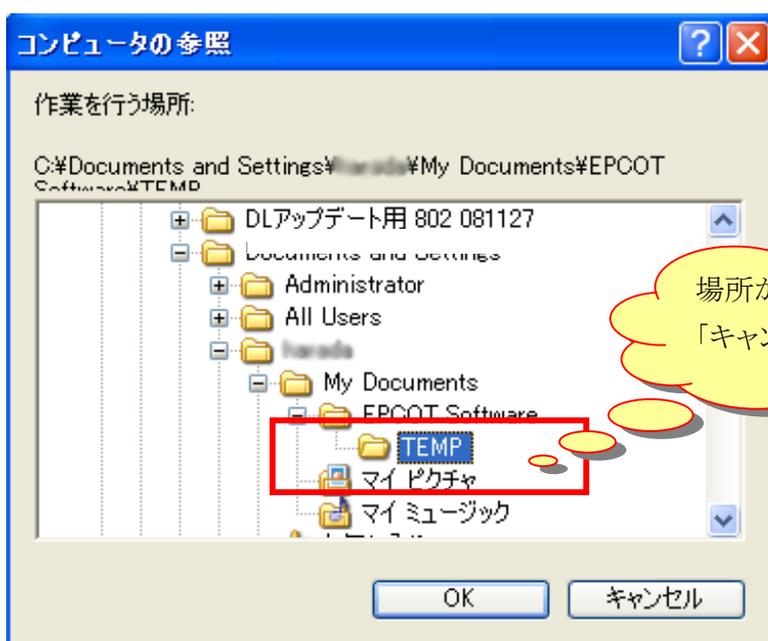
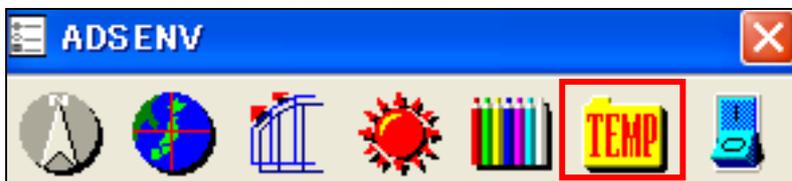
2. 前準備として、ADSの作業ディレクトリ(TEMP)を確認

◆ADS Ver.7◆

a). 「環境設定」をクリック



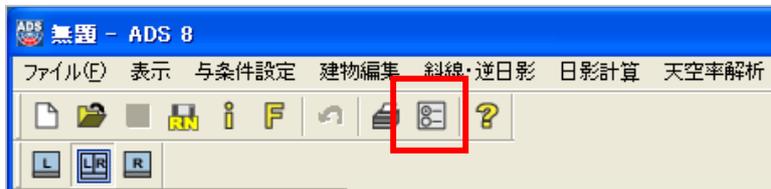
b). 「TEMP」をクリック、作業フォルダの場所を確認



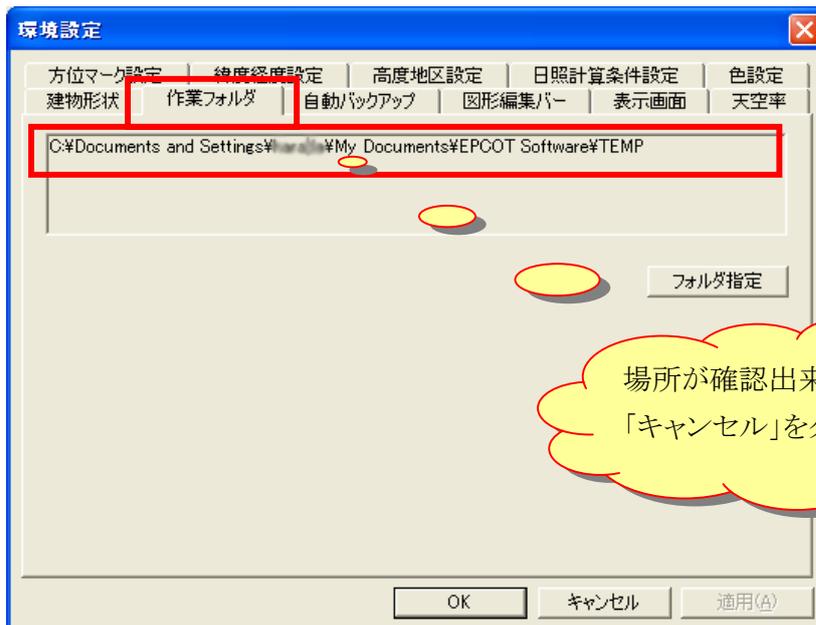
場所が確認出来たら
「キャンセル」をクリック

◆ADS Ver.8◆

a). 「環境設定」をクリック



b). 「作業フォルダ」タブをクリック、作業フォルダの場所を確認



3. ノートン アンチウイルス 2009 のセキュリティ除外の設定方法

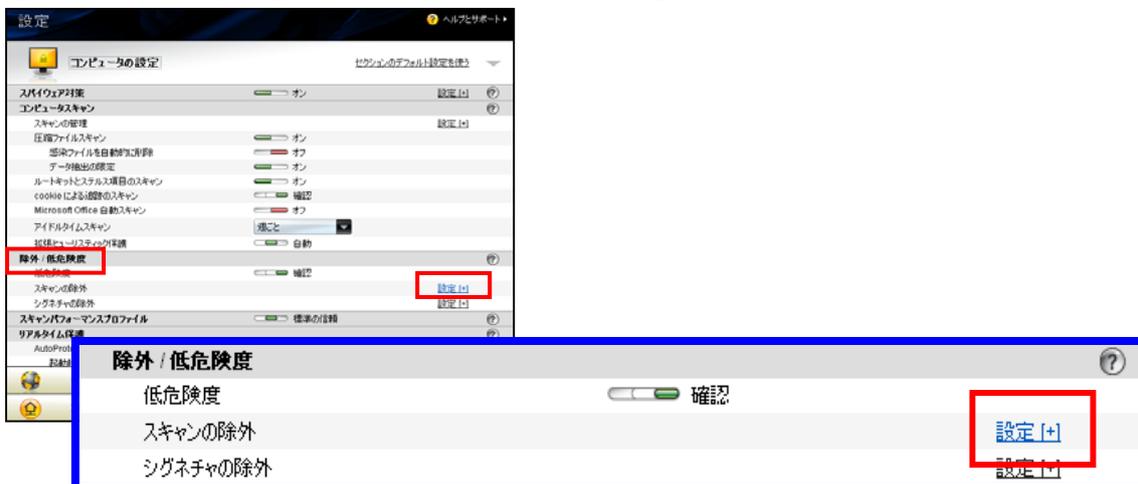
①Norton を起動(アイコンをダブルクリック)



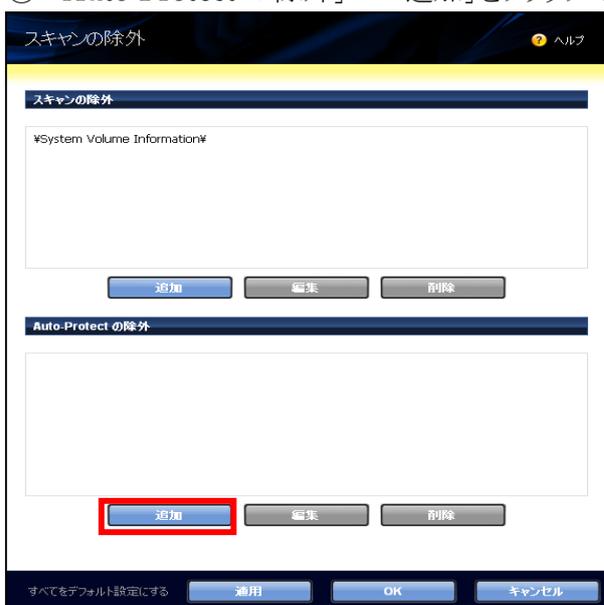
②「コンピュータ」→「設定」をクリック



③「除外／低危険度」→「スキヤンの除外」、「設定」をクリック



④「Auto-Protect の除外」→「追加」をクリックで、ADS の作業ディレクトリを追加します



⑤ 「項目の追加」で、ADS の作業ディレクトリを選択

※ 2. で確認した作業ディレクトリ (TEMP) です。



⑥ 選択後、「OK」をクリック

⑦ 「Auto-Protect の除外」で、指定された ADS の作業ディレクトリを確認



⑧ 「適用」をクリック

4. 設定完了

以上で、完了です